

REPORT

性教育と 予期せぬ妊娠に 関する自主調査

性教育で教わった内容と、予期せぬ妊娠の経験の関連性を調べる

01 概要

サンプル数	800ss（男女それぞれ400ssずつ）
年齢	10～29歳
性別	男女
実施手法	調査会社のパネルを利用したアンケート調査
実施期間	2024年11月
聴取項目	小学・中学・高校で受けた性教育の内容 【選択肢式/複数回答可】
	小学・中学・高校校外で受けた性教育の内容 【選択肢式/複数回答可】
	性行為の経験有無とその年齢
	予期せぬ妊娠、妊娠不安の経験有無とその年齢
	学校で受けたかった性教育の内容 【選択肢式/複数回答可】

※年齢・性別・居住地
も併せて取得

02 プロフィール

都道府県

全体	800
性別 男性	400
女性	400
年代 10代	400
20代	400
性年代 男性10代	200
男性20代	200
女性10代	200
女性20代	200

性年代

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄
36	63	288	136	153	37	21	66
4.5%	7.9%	36.0%	17.0%	19.1%	4.6%	2.6%	8.3%

性行為の経験有無

あり	309
10~15歳	48
16~18歳	123
19~22歳	91
23~29歳	34
ない	350

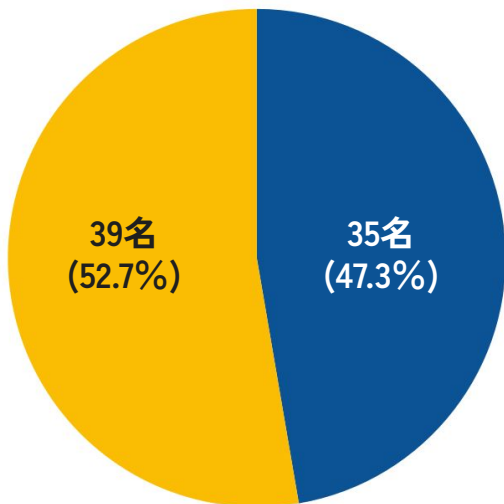
「予期せぬ妊娠」を経験したのは、
全体の9.25%

Q1 「予期せぬ妊娠」を経験した9.25% = 74名の内訳

10代～20代の男女800名へのインターネットアンケート調査の結果（一般社団法人ソウレッジ）より

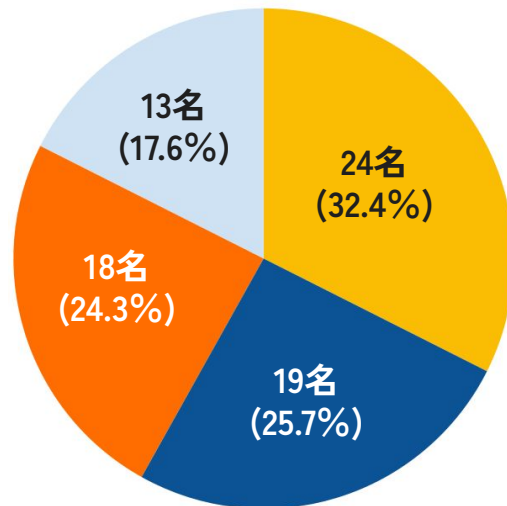
性別

- 女性
- 男性



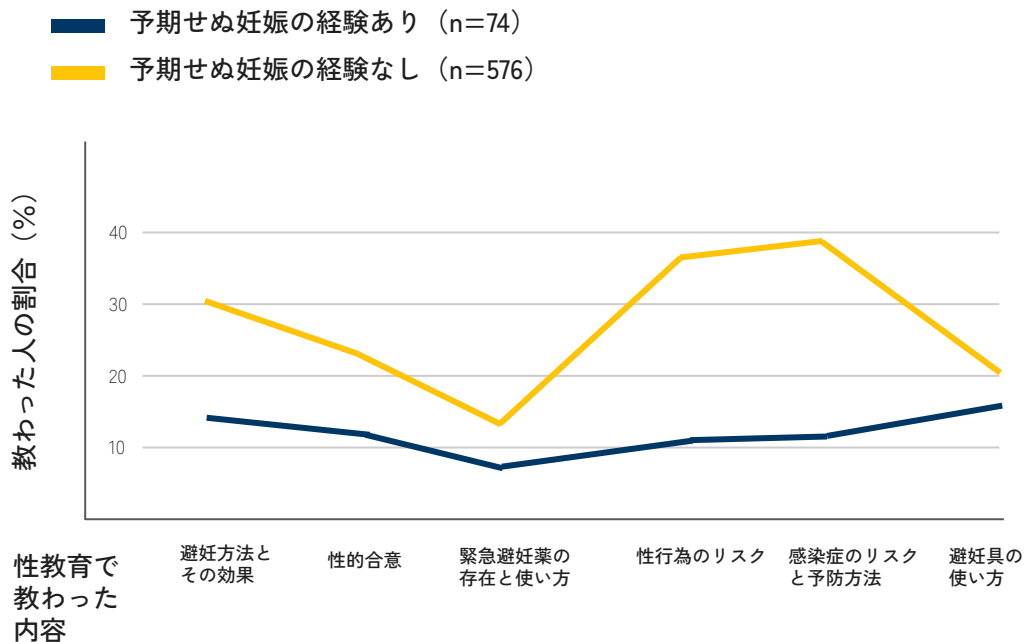
年齢

- ～15歳
- 16～18歳
- 19～22歳
- 23歳以上



Q2 避妊に関する教育と 「予期せぬ妊娠」の関連性（全体）

10代～20代の男女800名へのインターネットアンケート調査の結果（一般社団法人ソウレッジ）より

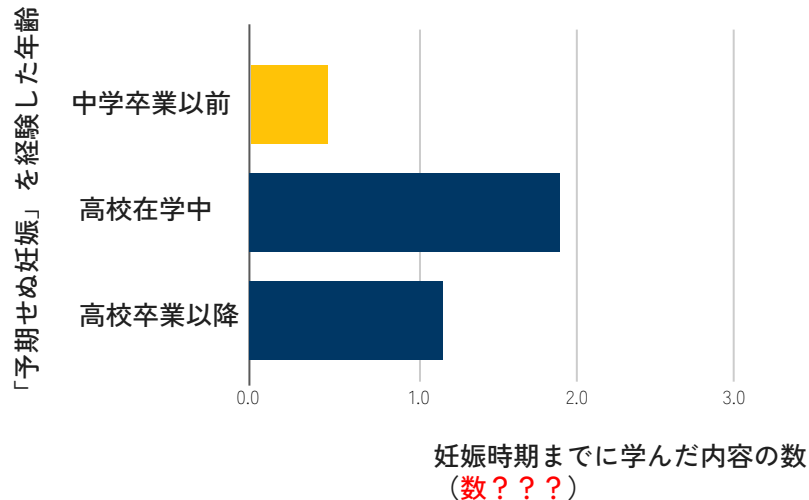


中学校時に性教育で 学んだ内容

予期せぬ妊娠の経験がない人と比較して、予期せぬ妊娠の経験がある人は、性教育で避妊に関する項目を学んでいない。

Q3 妊娠時以前に、性教育で 避妊について学んだか（5段階評価）

10代～20代の男女800名へのインターネットアンケート調査の結果（一般社団法人ソウレッジ）より



避妊に関する知識がない まま妊娠するケース

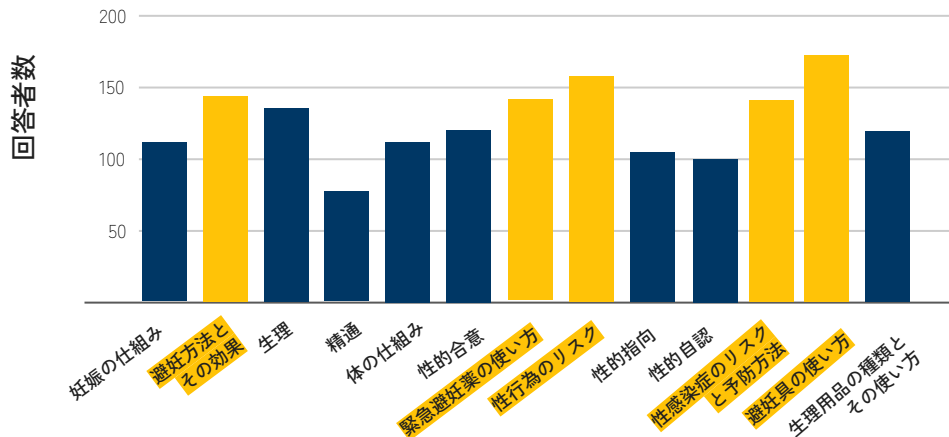
予期せぬ妊娠の経験がある人は、性教育で避妊について学んでいない。

特に、中学卒業までに予期せぬ妊娠の経験をしている人は、それまでに避妊に関する知識を身につけられていないことがわかる。

Q4 学びたかった内容の多くが 「避妊について」

10代～20代の男女800名へのインターネットアンケート調査の結果（一般社団法人ソウレッジ）より

■ あなたが学生時代に学びたかった性教育の内容について、
あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答可）



学生時代に学びたかった 性教育の内容

- ① 避妊具の使い方
- ② 性行為のリスク
- ③ 緊急避妊薬の存在と使い方
- ④ 避妊方法とその効果
- ⑤ 性感染症のリスクと予防方法

と避妊に関係する回答が多かった。

03 性教育で受けてきた 内容について

Q1 学校の授業で教わった性教育【小学校】

性教育は全体的に限定的で、
初期介入が十分に機能していない

避妊経験や不安の有無にかかわらず、
全体的に性教育が限定的であり、
初期介入の機能が十分果たされていない

- 「避妊方法とその効果」（8.9%）や「緊急避妊薬の存在と使い方」（5.5%）など、実践的性知識の取得率は1割未満に留まっている。
- 男性10代の35%、男性20代の半数以上が「教わっていない」と回答。総じて女性よりスコアが低く、ジェンダーによる教育格差も見られる。
- 予期せぬ妊娠の経験がある層では、「妊娠の仕組み」（13.8%）が全体と比べて10pt以上低い。

ここから、学校の授業での性教育についてお聞きます。
小学校の授業で教わった性知識について、あてはまるものをすべてお答えください。

nが30以上の時【差分】



			身体 の仕組み	生理	妊娠 の仕組み	精通	生理用品の種類 とその使い方	性感染症のリスク と予防方法	性行為のリスク	性自認	避妊方法と その効果	性的指向	避妊具の使い方	性的合意	緊急避妊薬の 存在と使い方	あてはまるもの はない
全体		800	42.4%	36.3z5	24.9%	20.9%	18.1%	13.4%	12.5%	11.1%	8.9%	8.5%	8.3%	8.0%	5.5%	33.6%
性年代	男性10代	200	43.0%	22.0%	23.5%	20.5%	7.0%	15.0%	15.0%	13.5%	11.0%	9.5%	12.0%	12.0%	6.0%	35.0%
	男性20代	200	29.0%	12.0%	13.0%	15.5%	7.0%	9.5%	8.5%	8.5%	3.5%	5.5%	7.0%	3.5%	3.5%	51.0%
	女性10代	200	56.0%	61.0%	38.0%	29.5%	30.0%	18.0%	14.5%	11.5%	10.5%	11.5%	6.5%	9.0%	6.5%	22.5%
	女性20代	200	41.5%	50.0%	25.0%	18.0%	28.5%	11.0%	12.0%	11.0%	10.5%	7.5%	7.5%	7.5%	6.0%	26.0%
性行為の 経験	あり	309	36.6%	32.4%	22.0%	18.1%	18.8%	9.7%	10.7%	11.3%	9.1%	8.7%	6.5%	5.2%	6.1%	26.9%
	ない	350	52.0%	43.7%	29.1%	25.4%	18.6%	16.3%	13.4%	11.7%	7.4%	8.3%	9.1%	10.0%	4.6%	27.1%
予期せぬ 妊娠の経験	あり	80	27.5%	22.5%	13.8%	17.5%	21.3%	13.8%	10.0%	18.8%	12.5%	8.8%	13.8%	7.5%	15.0%	16.3%
	ない	576	51.6%	43.4%	29.5%	24.5%	20.8%	14.4%	13.7%	11.3%	8.2%	8.7%	7.6%	8.9%	4.7%	27.3%
妊娠不安 の経験	あり	110	42.7%	34.5%	20.9%	22.7%	26.4%	8.2%	10.0%	12.7%	9.1%	7.3%	12.7%	5.5%	10.0%	15.5%
	ない	553	49.7%	42.1%	28.9%	23.3%	19.3%	15.2%	13.7%	11.9%	8.5%	8.7%	7.6%	8.9%	4.9%	28.0%

Q2 学校の授業で 教わった性教育 [中学校]

性教育は女性の方が比較的高く、
知識のなさや予期せぬ妊娠は
相関関係がある。

- 「避妊方法とその効果」(25.3%)や「緊急避妊薬の存在と使い方」(14.3%)と小学校より上昇しているが、3割未満に留まっている。
- 男性20代の4割強が「教わっていない」と回答。女性10代はほとんどの項目で全体より5pt以上高い。
- 予期せぬ妊娠の経験がある人の方が、性教育に関する知識を持っている割合が多く、項目で全体平均より低い。

中学校の授業で教わった性知識について、あてはまるものをすべてお答えください。

nが30以上の時【差分】



			身体の仕組み	生理	妊娠の仕組み	精通	生理用品の種類 とその使い方	性感染症のリスク と予防方法	性行為のリスク	性自認	避妊方法と その効果	性的指向	避妊具の使い方	性的合意	緊急避妊薬の 存在と使い方	あてはまるもの はない
全体		800	42.1%	35.6%	37.0%	28.1%	16.8%	30.3%	30.3%	19.8%	25.3%	18.1%	17.8%	20.9%	14.3%	29.0%
性年代	男性10代	200	46.5%	34.5%	39.5%	33.0%	13.0%	33.0%	38.5%	28.5%	29.0%	23.0%	21.0%	27.5%	15.5%	25.5%
	男性20代	200	25.5%	17.5%	22.5%	22.0%	11.0%	16.0%	19.0%	10.5%	15.5%	12.0%	14.0%	11.0%	10.5%	44.5%
	女性10代	200	55.5%	52.5%	50.5%	33.5%	24.5%	48.0%	42.5%	28.5%	40.0%	26.0%	20.0%	29.0%	19.5%	18.0%
	女性20代	200	41.0%	38.0%	35.5%	24.0%	18.5%	24.0%	21.0%	11.5%	16.5%	11.5%	16.0%	16.0%	11.5%	28.0%
性行為の 経験	あり	309	35.0%	26.9%	32.0%	21.4%	15.5%	18.8%	20.7%	14.9%	19.7%	15.2%	15.5%	15.2%	12.3%	25.6%
	ない	350	52.3%	47.1%	44.6%	37.7%	18.9%	42.9%	41.7%	25.7%	31.1%	23.1%	20.9%	28.0%	16.6%	19.7%
予期せぬ 妊娠の経験	あり	80	22.5%	18.8%	23.8%	11.3%	7.5%	10.0%	11.3%	10.0%	15.0%	15.0%	17.5%	10.0%	6.3%	18.8%
	ない	576	51.6%	43.2%	44.4%	34.9%	20.0%	37.3%	37.0%	23.6%	30.2%	20.7%	20.1%	24.8%	16.3%	21.2%
妊娠不安 の経験	あり	110	34.5%	29.1%	33.6%	20.9%	16.4%	18.2%	17.3%	13.6%	19.1%	11.8%	19.1%	13.6%	9.1%	16.4%
	ない	553	50.6%	42.3%	43.0%	34.2%	18.8%	37.1%	37.3%	23.1%	30.0%	21.3%	20.1%	24.6%	16.5%	21.9%

Q3 学校の授業で 教わった性教育 [高校]

性教育の知識は低水準で、
男女差と経験格差が顕著

- 「避妊方法とその効果」(30.1%)や「緊急避妊薬の存在と使い方」(22.6%)と小・中学校より上昇しているが、3割程度に留まっている。
- 男性10代の39%、男性20代の半数以上が「教わっていない」と回答。総じて女性よりスコアが低く、ジェンダーによる教育格差も見られる。
- 予期せぬ妊娠の経験がある人の方が、性教育に関する知識を持っている割合が多く、多くの項目で全体平均より低い。

高校の授業で教わった性知識について、あてはまるものをすべてお答えください。

nが30以上の時【差分】



			身体の仕組み	生理	妊娠の仕組み	精通	生理用品の種類 とその使い方	性感染症のリスク と予防方法	性行為のリスク	性自認	避妊方法と その効果	性的指向	避妊具の使い方	性的合意	緊急避妊薬の 存在と使い方	当てはまるもの はない
全体		800	32.9%	29.0%	32.1%	23.8%	16.3%	33.0%	33.5%	21.4%	30.1%	21.4%	21.4%	25.5%	22.6%	42.3%
性年代	男性10代	200	36.5%	32.5%	37.0%	31.5%	17.0%	38.0%	39.0%	28.0%	36.5%	28.0%	28.0%	33.5%	26.5%	38.5%
	男性20代	200	21.5%	18.0%	20.5%	17.0%	12.5%	20.0%	24.5%	12.5%	18.0%	12.5%	15.5%	14.5%	12.0%	55.5%
	女性10代	200	47.5%	42.5%	47.0%	32.5%	24.0%	54.0%	50.0%	32.5%	46.0%	32.5%	30.0%	37.0%	39.5%	28.5%
	女性20代	200	26.0%	23.0%	24.0%	14.0%	11.5%	20.0%	20.5%	12.5%	20.0%	12.5%	12.0%	17.0%	12.5%	46.5%
性行為の 経験	あり	309	25.2%	22.0%	24.6%	14.6%	12.6%	21.4%	24.3%	15.2%	22.0%	15.2%	15.5%	18.8%	14.2%	40.5%
	ない	350	43.4%	39.1%	43.4%	33.1%	21.1%	47.4%	46.9%	29.4%	40.6%	29.4%	29.4%	34.0%	33.1%	32.6%
予期せぬ 妊娠の経験	あり	80	16.3%	15.0%	16.3%	10.0%	7.5%	15.0%	11.3%	12.5%	11.3%	12.5%	11.3%	17.5%	6.3%	25.0%
	ない	576	40.5%	35.6%	39.8%	28.6%	19.8%	41.0%	42.0%	26.0%	37.7%	26.0%	26.0%	30.2%	28.5%	37.0%
妊娠不安 の経験	あり	110	28.2%	23.6%	23.6%	18.2%	10.9%	18.2%	20.9%	15.5%	20.0%	15.5%	16.4%	20.0%	11.8%	30.9%
	ない	553	39.1%	34.7%	39.2%	28.0%	19.2%	41.2%	41.6%	25.9%	36.9%	25.9%	25.9%	30.4%	28.4%	36.7%

Q4 学校外で 教わった 性教育について

過半数が学校外で性知識を得ておらず、得ても主に女性の生理関連に限られる

- 学校外で教わった知識について、「あてはまるものはない」が全体でも58.9%、学校種別でも全て50%を超えており過半数が学校外で性知識を得ていないことがわかる。
- 学校外で教わった性知識について、多くは女性が生理や生理用品に関する内容を教わっており、それ以外の内容について学校外で教わっているのは非常に限定的であった。
- 家庭での性教育は保護者の方針や家庭環境にも左右されてしまうため、学校で教えることが求められる。

次に【授業以外】で得た性知識についてお聞きします。

あなたが【授業以外】で得た性知識について、あてはまるものをすべてお答えください。

小学校・中学校・高校の時に、【授業以外】で得た性知識について

nが30以上の時【差分】

全体 + 5pt

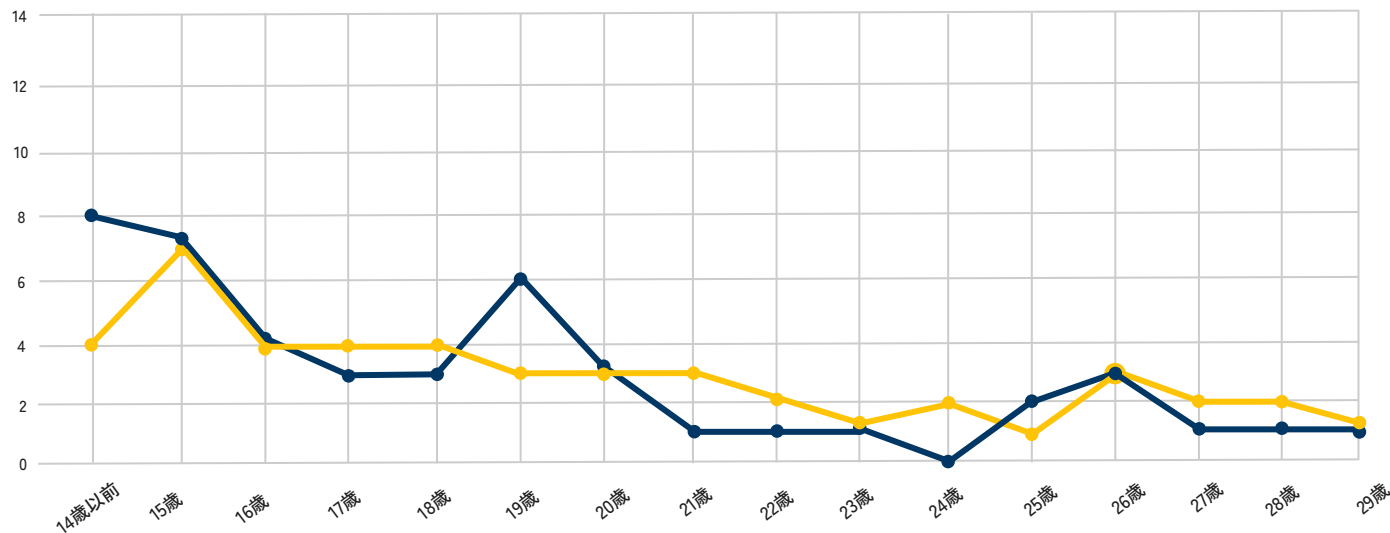
全体 - 5pt

			身体の仕組み	生理	妊娠の仕組み	精通	生理用品の種類 とその使い方	性感染症のリスク と予防方法	性行為のリスク	性自認	避妊方法と その効果	性的指向	避妊具の使い方	性的合意	緊急避妊薬の 存在と使い方	当てはまるもの はない
小学生	全体	800	14.5%	18.4%	9.9%	8.0%	11.6%	5.6%	6.6%	6.8%	5.5%	6.8%	5.3%	5.9%	4.8%	58.9%
	男性	400	15.0%	9.3%	8.5%	10.3%	5.3%	6.8%	7.5%	6.5%	5.8%	7.3%	5.3%	6.3%	5.8%	64.5%
	女性	400	14.0%	27.5%	11.3%	5.8%	18.0%	4.5%	5.8%	7.0%	5.3%	6.3%	5.3%	5.5%	3.8%	53.3%
中学生	全体	800	14.1%	14.9%	16.5%	11.8%	13.9%	11.5%	15.4%	12.5%	12.4%	12.5%	12.8%	11.5%	9.8%	51.0%
	男性	400	15.0%	10.8%	13.8%	14.3%	8.5%	10.8%	12.5%	12.0%	10.5%	11.8%	12.5%	12.0%	9.8%	57.0%
	女性	400	13.3%	19.0%	19.3%	9.3%	19.3%	12.3%	18.3%	13.0%	14.3%	13.3%	13.0%	11.0%	9.8%	45.0%
高校生	全体	800	13.9%	13.1%	13.1%	9.9%	12.1%	14.6%	16.4%	12.5%	13.5%	13.0%	16.8%	13.9%	12.6%	55.5%
	男性	400	15.8%	13.8%	13.0%	11.0%	10.5%	14.0%	15.3%	13.0%	11.5%	12.8%	15.8%	13.5%	11.8%	58.0%
	女性	400	12.0%	12.5%	13.3%	8.8%	13.8%	15.3%	17.5%	12.0%	15.5%	13.3%	17.8%	14.3%	13.5%	53.0%

04 性知識と妊娠不安/予期せぬ妊娠

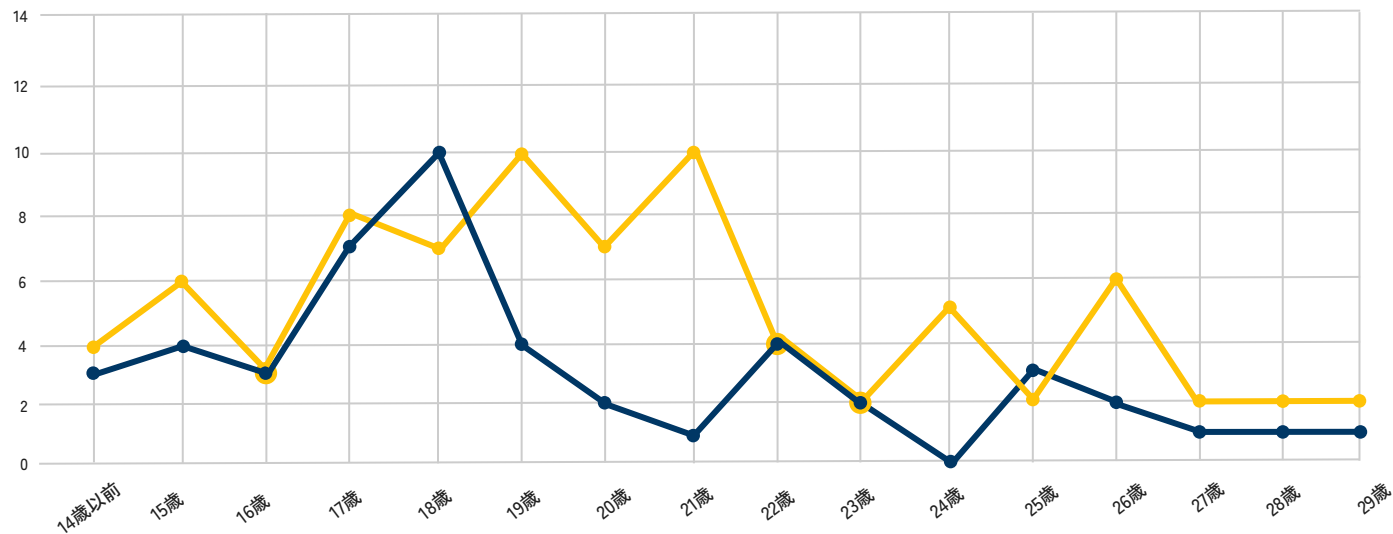
あなたは、【予期せぬ妊娠】を経験したことがありますか。
ある方は、経験した年齢を【すべて】お答えください。

■ 男性 (n 経験がある=40)
■ 女性 (n 経験がある=44)



あなたは、【妊娠をしたかもしれない】と不安を感じたことがありますか。
ある方は、そう感じた年齢を【すべて】お答えください。

■ 男性 (n 経験がある=40)
■ 女性 (n 経験がある=44)



A. 性教育を受けたタイミングと 予期せぬ妊娠の関係

学校で性教育を受けた時期（学年）と、実際に予期せぬ妊娠を経験した時期には大きなミスマッチが見られます。多くの予期せぬ妊娠は、当人が十分な性知識を得る前の段階で起きています。

- 10代での妊娠が多数発生: 予期せぬ妊娠を経験した女性44名のうち、
およそ6割にあたる約26名は10代（高校生相当年齢まで）で妊娠を経験していました。
具体的には「14歳以前」での妊娠が4件、15歳で7件、16歳で4件、17歳で4件、18歳で4件、
19歳で3件報告されています。男性側もパートナーの妊娠経験として似た傾向があり、
高校生年代までに予期せぬ妊娠を体験したケースが少なからず存在しました。

- **性教育のタイミング不足**：上記のように高校卒業前に妊娠を経験するケースがある一方で、**中学校までに避妊法を教わっていた人は全体の28%程度**しかいません。
高校在学中まで広げても、避妊について学校で学ぶのは4割程度です。
つまり、多くの生徒は十分な避妊知識を持たないまま10代後半を迎えている計算になります。
その結果、高校生の年齢で妊娠してしまうケースでは「知識が追いついていなかった」可能性が高いと考えられます。実際、本データでも避妊教育を受けていない時期に妊娠に至ったとみられる例が複数確認できます
(例：15歳で妊娠した7人の大半は、中学までに避妊を学んでいなかったと推察される)。
- **学校外での知識習得**：学校で教わらなくとも自主的に知識を得ていればリスクを下げられますが、調査によれば**高校卒業までに避妊法を「授業以外」で学んだ人も2割程度**にとどまります。そのため、多くの若者は知識不足のまま性行動を開始し、結果として予期せぬ妊娠に至っている可能性があります。

以上から、**性教育が提供される時期と内容が不十分なために、知識が追いつく前に予期せぬ妊娠が発生してしまう傾向が示唆**されます。適切な内容をより早い段階で教えることの重要性が浮き彫りになっています。

性教育が不十分なため
知識が追いつく前に
予期せぬ妊娠が発生

B. 性教育のタイミングと「妊娠不安」の傾向

- **妊娠不安の集中時期**：「妊娠したかもしれない」と不安を感じた経験（妊娠不安）は、**男女とも17～20歳前後に集中**していました。特に18歳で不安を感じたケースが男女ともに最多（各10件）で、次いで女性では17歳や20歳、男性では17歳や19歳にそれぞれ複数のケースが見られます。これらはちょうど高校在学中から卒業直後の時期に相当し、**高校生年代で妊娠の可能性に直面する若者が多い**ことを示しています。
- **高校生年代の性教育**：上記の通り高校在学中に妊娠不安を経験するケースが多いにもかかわらず、**高校段階で包括的な性教育が行われていない可能性**があります。高校で避妊や性行為のリスクについて教わった人は全体の30%程度に過ぎず、緊急避妊策について教わった人となるとさらに少数です。そのため、**高校生の時点で避妊知識が不十分なまま性交渉に及び、不安を感じてしまうケースが多発**していると考えられます。

- **知識不足による不安の増大**：性に関する十分な知識を持たないと、妊娠のメカニズムや可能性について誤解や不安を抱きやすくなります。例えば、安全日や避妊成功率に関する理解が浅ければ、実際には低リスクな状況でも過度に不安になることがあります。調査では約21%の女性が「妊娠の仕組みを学生時代にもっと学びたかった」と回答しており、基本的な生殖に関する知識の不足を感じている人もいました。**このような知識不足が妊娠に対する過剰な不安感につながっている**可能性があります。
- **男女差の影響**：妊娠不安の経験率は女性の方が高く、これは女性自身が妊娠のリスクを負うため直接的に不安を感じやすいことによります。一方男性は、「知識不足による漠然とした不安」を感じても自身が妊娠するわけではないためか、女性ほど高い割合では報告していません。男性の妊娠不安経験はパートナー次第の面もあり、女性の性教育充実が間接的に男性の不安軽減にもつながると考えられます。

以上の結果から、**性教育が不十分なまま性活動の時期を迎えると、妊娠そのものだけでなく妊娠への不安も高まる**傾向が読み取れます。適切な知識が若年層に行き渡れば、「正しく避妊できているか分からず不安」「妊娠の可能性を正しく判断できず不安」といった状況を減らすことが期待されます。

C. 性知識と予期せぬ妊娠の関係性

性知識の少なさと予期せぬ妊娠の経験に関連がある可能性

「性知識が0」の層における**予期せぬ妊娠経験率は16.4%と高い。一方で「性知識が13」の層では1.8%と最も低い。知識数が増えるにつれて、予期せぬ妊娠の経験率が減少している傾向がある。

知識が少ない層ほど母集団が多い

「知識が0～3個」の層が全体の過半数（約62%）を占めている。逆に「知識が10個以上」の層は非常に少数。

→性知識の習得が、予期せぬ妊娠の予防に寄与している可能性が高い。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	総計
予期せぬ妊娠あり	18	43	15	6	7	7	3	3	0	2	0	3	1	2	110
予期せぬ妊娠なし	121	78	56	46	42	41	36	28	22	14	22	17	6	24	553
総計	232	136	77	56	49	52	43	33	22	17	23	23	7	30	800

05 まとめ



実践的性知識の教育は
全体的に不十分、
特に初期段階の
取得率は著しく低い

小学校では「避妊方法とその効果」（8.9%）、
「緊急避妊薬の存在と使い方」（5.5%）といった
実践的知識の取得率は1割未満にとどまる。
中学校でもそれぞれ25.3%、14.3%とやや上昇するが、3割には届かず、
予防的教育としては限定的。高校段階でようやく30.1%、
22.6%まで上昇するが、過半数に届かず、リスクへの対応力には不安が残る。



ジェンダーによる教育格差が 全体を通じて一貫して存在している

小学校：「教わっていない」と回答した割合は男性10代で35.0%、男性20代で51.0%。女性10代は22.5%と顕著な差。

中学校：「教わっていない」男性20代は55.5%と最も高く、女性10代は28.5%と30pt近い差がある項目も複数。

高校：男性10代で「教わっていない」は39.0%、男性20代では58.5%、女性10代は17.0%で男女間の差が継続。

特に20代男性の取得率は小中高すべての段階で極めて低く、学校教育の届きにくさが示唆される。

「教わっていない」とする回答が 全体で一定数存在し、制度的な 教育機会そのものに課題がある

小学校全体で33.6%、中学校で29.0%、高校で42.3%が
「あてはまるものはない」と回答。

特に高校でのこの数値は、義務教育を終えた段階においても約4割が
「性教育を受けた記憶がない」と認識していることを示す。

教育内容の不足だけでなく、「受けたと認識されない教育設計」の
課題も含まれている可能性がある。



発行元

一般社団法人
ソウレッジ

東京都渋谷区渋谷2-19-15宮益坂ビルディング609

info@sowledge.com